

## 【息子と出会って】

豊後大野市 甲斐 隆文さん

私には、もうすぐ10ヶ月になる息子がいます。妻と私、二人にとって初めての子供でも喜びも大きい反面、出産・育児の不安もとても大きいものでした。昨年9月下旬、勤務中だった私に妻の陣痛がいよいよ激しくなり赤ちゃんが生まれそうだと、病院から電話がありました。“いよいよかあ！”と大急ぎで病院に向かい妻のもとへ向かいました。そしてその日の夜、分娩室に入り、痛みで苦しむ妻に声をかけながら見守りました。日付が変わってすぐの事です。初めて産まれたばかりの赤ちゃんを目のあたりにしたのです。肌は薄く紫色だったけれどしっかり「オギャーオギャー」と泣いていました。妻と二人、ホッとした心持ちでこの喜びをかみしめました。

妻と赤ちゃん、私の3人での生活がスタートし、最初は、戸惑う事もとても多かったです。抱き方も、首が座っていないから優しく抱かなきゃと、今思うときちななかったかも知れませんが、お風呂に入れるのはずっと私の役目で最初は赤ちゃんを浴槽の風呂桶を使って入れていました。息子は風呂が好きようで、いつも機嫌良く入ってくれます。赤ちゃんを授かって驚いたのはその成長スピードです。あっと言う間に大きくなるんですね。あんなに小さくて軽かったのに今では10kg超え、逞しく成長してくれました。私は仕事、妻は家事をして、妻が子どもの面倒をみる間、私が家事を手伝ったり、忙しい毎日が続いているけれど、どんなに疲れて帰ってきても、帰宅した私の顔を見てニコリ笑う息子の顔を見たら疲れが吹き飛びます。離乳食を食べる息子と一緒に食事をし、一緒に風呂に入り、おもちゃで遊んだり、絵本を読んできかせたり、妻と一緒に育児をすることがとても楽しく感じます。赤ちゃんを育てる事は大変な事ですが、それ以上の感動や喜びを赤ちゃんは与えてくれます。産まれる前は、本当に自分なんか父親になれるのかと不安もありましたが、息子に出会って私はこの子に父親にさせて貰いました。疲労や苛立ちがすぐ顔にでる私でしたが、そんな時息子が私の顔をジーっと見つめ、まるで“パパ、どうしたの？”と聞いているような顔をするのです。息子がこんなに逞しく成長しているのに自分は何て未熟なんだと反省し、父親としてもっともっと成長せねばと考えさせられました。子どもは神様から最高の贈り物です。妻と二人、これからも力を合わせて子育てをしていきます。